

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 15日

事業所名 放課後等デイサービス夢の地図

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		指導訓練室他、学習スペース、個別スペース等備えており利用定員に対しての広さは備えております。	
	2	職員の配置数は適切である	○		規定、若しくはそれ以上の人員を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	階段などで注意が必要な場合はスタッフが付いて移動している。	賃貸のため改修等が難しい。必要に応じて対応を検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		事業所での会議で業務状況を話し合い周知している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者からアンケートを収集し改善点など検討している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		保護者等からもアンケートをとり改善につなげている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		症例を元に対策などをカンファレンスする機会を作っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		情報収集したうえでアセスメントを行い支援計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々支援の内容を検討し個別にも支援を提供できるようにしている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		本人に合った支援を話し合い提供している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		日々の状況に応じ本人を希望を踏まえ計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日の記録を作成し計画の改善につなげている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議を開催し保護者、本人の希望や状況に合わせて行っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校とも普段の様子を情報収集して連絡調整している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		普段気を付けることなど保護者から確認している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		現在参加はできていないが今後参加できるようにしていきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		本人の課題や支援計画など会議等で情報提供し共通理解ができるようにする。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		事前に費用や活動支援、保護者の希望をもとに支援内容を提示している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者の悩み等は連絡帳や電話連絡の時に聞いて助言できるようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者同士の連携が取れる等に今後リモートなどを使用し活動を検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		1日の出来事などスタッフ間で情報共有し苦情があったときも迅速に対応できるようにしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		普段の状況は保護者に連絡し報告している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		書類等は外部に持ち出さないように徹底している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを作成し周知している。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員の研修時間を確保し虐待に対する研修を行っている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		拘束が必要な場合は事前に保護者に同意を得て行うように徹底している。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーがあれば事前に確認し情報共有している。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			